

その「物語」、の物語。

“ペログリ”的複眼思考の味わい vol.153

a taste of Ya'ssy

田中 康夫



たなかやすお●'56年東京生まれ、作家。'00年より長野県知事を2期務める。'07年に参議院議員に当選。'09年に衆議院議員に当選、1期務める。小説「33年後のなんとなく、クリスタル」を11月半ばに河出書房新社から上梓。【公式ブログ】<http://www.nippon-dream.com/>

芸術的な装飾ケーキで “親馬鹿”満喫！愛娘の誕生日

今週の逸品



ロッタ誕生日ケーキ 銀座ピエスモンテの特注

トイプードルのロッタは“人情味と正義感の街”尼崎中央商店街のペットスタイルで邂逅。僕が国会議員時代は温度調節されたバルク・カーゴ室に預けられて幾度となく伊丹一羽田を移動の“ジェット族”。「33年

後のなんとなく、クリスタル」でも冒頭を始め幾度か登場。ピエスモンテHPには特注ケーキの作品例が。ピエスモンテは連載114回で部分紹介。上記HPに掲載。ロッタの相親と骨の紹介は今も冷蔵庫で保存中。

【銀座ピエスモンテ】東京都中央区銀座8-6-22 ピエースビル1F ☎03-3574-0960
※12:00~24:00(土のみ~20:00) 日祭定休 <http://www.piecemontee.co.jp/>

illustration by Hajime Anzai



es Mini Day-toDay」は子犬ばかりの小型サイズで洗面所向き。安眠の子犬を特集のSellers社「Popped Puppies」も流通は限られますが得難き存在の日捲り。何れも現在はアマゾンで購入です。
我が家の愛娘ロッタが生誕4周年を迎えた9月29日、六本木通りを挟んでARKヒルズ真向かいの連載68回目に登場「カンテイヤアリ・バブ」で、彼女の誕生日祝をしました。犬も一緒に店内で過ごせる、真つ当なフランスの日常食を味わえる逸軒。

今回は並木通り沿いの銀座8丁目位置する銀座ピエスモンテの特注ケーキを持ち込んで、ロッタと妻の“3人”で最後に賞味。嘗て銀座6丁目存在したエルドールで研鑽を積んだ下村信司氏が営む、宝飾品とも呼ぶべき小さな断片の積み重ねピエス・モンテ飾り菓子(600円)の数々がショーウィンドウに並び、こちらも得難き逸軒。
彼の薫陶を受ける「子息が今回は腕を振るい、芸術的な装飾ホルケーキが完成。「飛行犬」として空中を翔ぶ瞬間を巧みに撮らえる写真家の場信幸氏が活写した口ツタの表情を元に、チヨコレイト素材に描かれた彼女。ロッタの体調を考えて、糖分控え目なれど、彼女はホンの一口のみ。いやはや、「娘」に乗じて人間の「両親」が「親馬鹿」満喫の一夜でした。

イエナ洋書店は晴海通り沿いの銀座5丁目、近藤書店の3階に位置していました。1950年昭和25年創業。その前身は独逸の光学機器を扱っており、天体望遠鏡や顕微鏡で知られるカール・ツァイスの創業地イエーナに店名は由来します。因みにFCカール・ツァイス・イエーナは同社が創設したクラブです。
無国籍企業アマゾンが日本版サイトを立ち上げてから15ヶ月後の2002年1月に店仕舞。程なく近藤書店も閉店し、跡地は現在、

デイオール銀座店。そのイエナは服飾、写真、広告、料理、文学等の著名人が足を運ぶ「梁山泊」でした。僕もイエナを通じて何種類もの洋雑誌を定期購読し、米国製の犬の日捲りカレンダーと巡り会ったのもイエナです。
「Page-a-Day Calendar」と銘打ってWorkman社が、今では日本でも一般的な卓上日捲りを最初に販売したのは1979年。
飼い主が応募してきたペットの写真を1日1枚、土日は2枚並列で1年300枚余りのカレンダー

に仕立てた「365 Dogs」「365 Galleries」。掲載された飼い主が大量に買い求めて知人に贈るのは必至。ビジネスとして大成功を収めます。
翌日以降にメモ用紙で活用すべく、往時は裏側に罫線も引いてありました。愛しい表情の犬が写っていると、遠巡したものです。
10数年前からは樹脂製スタンドに入った、写真家が撮影の「Dog Gallery」も登場。質感の高さも相俟って、こちらは毎年自宅の玄関に置いています。
Andrews McMeel社の「Puppi